

衛

生三

整備手入レ後梱包作業ニ従事ス

實働時間 一〇時間三〇分

い 田部上等兵以下八名、勤勞者六名ト共ニ作業

現場 鍛工器材、撤收及梱包作業ニ従事ス

實働時間 一〇時間三〇分

(二) 有馬上等兵以下五名、木製備品製作ニ

従事ス

進度 机<sup>高</sup>櫃<sup>三</sup> 二個 木取荒削道

實働時間 一〇時間

由山之内上等兵以下七名、諸勤務及事務整理

並ニ雜務ニ従事ス

實働時間 一〇時間三〇分

作業繁激ト暑氣ニ対スル衛生ニ対シ下級幹部ヲ

督勵シ衛生思想ニ著意セシ結果、患者ノ

記 事四

勤 務五

創意工夫六

發生ナク所期ノ目的ヲ達シ得タリ

美里分遣井上兵長以下七名、器材庫保管中ノ

木工器材一〇箱ノ受領ニ奉命シ任務完了

歸隊ス

週番上等兵 一 炊事 二

資材難ヲ克服シ設定作業ノ迅速ヲ期スベク

一般ニ創意工夫ヲ獎勵シ着々實行ニ務シ

比較的良好ノ成果ヲ得タリ

工程成果左ノ如シ

(1) 釘無シ台車箱

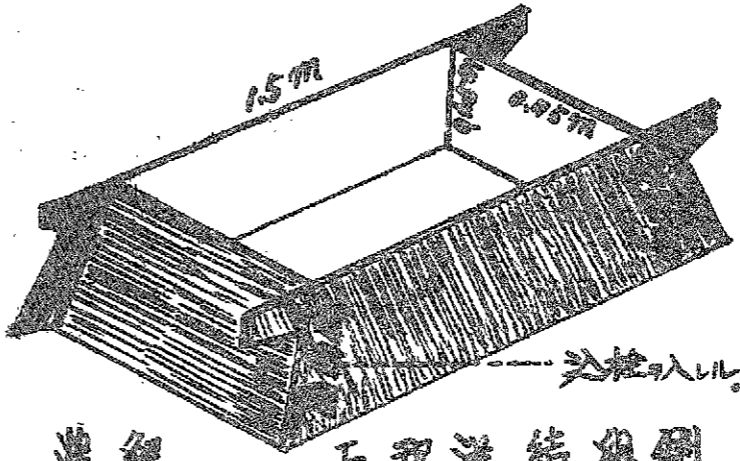
飛行場構築作業中軌條ニヨル土砂運搬ハ

主トシテ、トローラーヲ使用ス。此トローラー台車

箱組立ハ主トシテ洋釘ヲ使用シ組立ラシムルニ

當飛行場於テハ洋釘ノ準備無キ爲 組立ツタ

得た工事ノ遅延見ハルヲ憂ハ種々考慮ノ結果  
左ノ如キ釘鉄ト台車箱ヲ創案ヲ製作セリ



釘鉄ト台車箱ヲ創案ヲ製作セリ  
結果残度  
洋釘ヲ組立ル場合ニ比シハ〇%  
程度ニシテ、組立ルハ一三%程度ノ  
工費ヲ要ス  
取扱ヲ丁寧ニセバ九〇%  
程度ノ強度アリ  
解体モ至極便利ナリ  
洋釘組立ルハ一三%程度

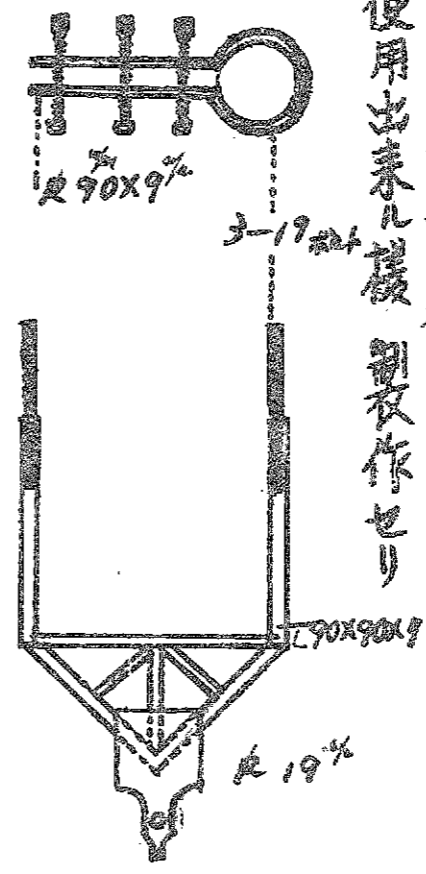
(四) コンクリート製ローラー

滑走路轉壓ヲ急ガ爲南港行場ニ於テ  
四傾ローラー二個、二傾ニ分ローラー二個、中港行場ニ  
於テ四傾ローラー二個、二傾ローラー二個製作セリ  
製作ニ使用セシ材料及調合割合次ノ如シ

使用材料  
砂利(冬) 珊瑚礁ヲ割リタモノ 濃程度  
調合割合 砂 (三) 海軍用採取光石  
セメント(六)

割合——水、セメントニ対シハ六%程度  
ローラーハ、コンクリートニテ製作シ中ニ鉄筋ヲ  
三〇程間ニ組入ミタリ  
重量ハ一立方米當リ一八五傾程度  
鐵板ナキ爲外装ヲ、コンクリートノ儘トセシガ

土砂ノ轉壓ハ、ローラーノ損傷ナキモ珊瑚礁ノ  
 轉壓ニ相當ノ磨滅アリ、結果トシテハ外装ニ  
 五條ノ鉄線程度ノ鐵板ヲ被覆スルヲ可トス、  
 牽引金具モ獨自ノ考案ニヨリ、メタルニ代  
 使用出来ル様、制作セリ



シヤフト取付部分ハ取離式トシテ一九九ノホルト  
 ニテ束結ス、強度ハ八頓程度迄牽引スル事ヲ得、  
 シヤフト及取付金具ノ磨滅ハ一ヶ月使用シタルニ

双方共約一、二兆程度ナリ、毎日、グリスヲ注入  
 セバ更ニ良好ナリト認ム

形状トシテハ、

四頓ローラー 経一、三〇。米 二頓ローラー 経一、三〇。米  
 長二、五〇。米

以上ノ寸法ニテ使用シモ頗ル適當ナリ

代用釘ニ就テ

洋釘無キ爲ハ番鐵線及一〇番鐵線ニテ代用釘

ニ製作使用セシ所、豫想外ノ好結果ヲ得タリ

工程 鍛工班 三名

(1) 一日製作量 三吋ナハ 八〇〇本程度

(2) 一日製作量 四吋ナハ 七〇〇本程度

(3) 木炭使用量 六百斤 一 噸程度

注意

洋釘ニ就テハ大差ナキモ是、使用ノ際細心ヲ注意ス

要ス

頭部ナキ爲丸紙在ラ残シ印キ由テ以テ結トテ付  
クルタメ持禮ナル個所ニハ難敷マラ  
且ツ抜キ取ル事ハ更ニ困難ニテ再使用ハ補修ヲ  
要スル點欠點ナレ共代用製成使用トシテハ  
相當ノ成果ト認ム。